

令和4年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河総合公園(古河公方公園)	施設所管課	都市計画課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	指定期間 (評価実施年)	平成4年 4月 1日	～	令和 9年 3月 31日
			(指定期間 5年 のうち 1年目)		
施設設置目的	古河公方館跡を中心に残されている自然の環境を保存し、水、緑、そして花の中での健康づくりを目指すとともに、豊かな歴史と自然の中で休養し、活動することによって、利用者に安らぎを与える公園として設置する。				
主な実施事業	園内緑地植栽管理・施設、遊具等維持管理・管理棟内の貸し出し施設、有料施設の貸し出し運営管理 市主催イベントの協力等				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
365	532,155		462	60,680,735	68,324,543	66,041,605	2,282,938	

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	条例・仕様書等の規定を遵守し、管理運営を行ってまいりました。財政面でも健全であります。	A	団体としては、評議員会・理事会にて予算・決算等を審査しており、団体としての財務状況は健全である。また、市の条例における施設の設置目的や役割を理解し、遵守しながら管理を実施している。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	利用時間・開館日は協定書を遵守しておりますが、早朝の大賀蓮鑑賞などには柔軟に対応しております。また、どろんこクラブ・植物観察会などの事業は、市広報誌やタウン誌、公社HPなどにより広く周知、公募しております。	A	利用時間や開館日については、協定書、条例を遵守しながら公平性を確保して運営が出来ている。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている	A	①利用者からの問い合わせ、苦情等があった場合は迅速かつ親切丁寧な対応を心がけてきました。 ②利用者アンケートを実施し、様々な意見の収集に努めました。	A	苦情、要望については、市に報告しながら迅速な対応が出来ている。また、利用者のアンケートを実施して利用者の声を把握しながら市と協議をして改善できる事は改善している。また、公園の利用者や学識経験者で構成する公方公園円卓会議にも利用者の意見や要望を報告し、適切な対応が出来ている。
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている	A	情報管理や危機管理に関してはマニュアル、規程に従って行動するよう徹底してまいりました。	A	情報管理については、マニュアルを作成して規程に従って管理が実施されている。
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している	A	利用者の安全確保のために、日常的に園内巡回を行うとともに、管理棟周辺で4台の防犯カメラを稼働させています。	A	通常時における安全確保としては、園内巡視を1日2回程度、実施。また、施設点検、遊具点検を実施し、安全を確保できた。
危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている	A	①事故・災害発生時対応マニュアル「感染症に対する危機対策マニュアル」等が策定しています。 ②夜間の管理体制強化のため、警備員による2回の巡回を行うとともに、警察へも巡回強化をお願いしています。 ③避難訓練も実施しております。	A	危機管理体制については、マニュアルが策定されているのを遵守し、危機管理に関する訓練や研修も実施できている。また、新型コロナウイルス対応マニュアルを制定し、危機管理体制を強化されている。	

3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である	A	① 万全な施設運営を遂行するため、職員、契約職員、委託業務員を効率的に配置しています。	A	人員体制については、適正な配置と思われる。人件費についての設定については、指定管理者全体の人件費を踏まえて市の人件費担当課(職員課)や財政課等の関係各課との調整を行い、精査した。
		・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している				
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている	A	スキルアップ等の各種講習、交通安全講習、ハラスメント講習に加え遊具の日常点検講習会も受講しました。また、甲種防火管理者講習や食品衛生責任者講習を受講して職員の資質向上に努めました。	A	専門的な管理運営が出来るよう職員が専門的な資格を積極的に取得し、技術向上に努めている。
施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である ・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している	A	① トイレを含む園内の清掃は、専門のスタッフを配置し、毎日行っています。なお、トイレについては、通常清掃に加え、今年度より専門業者による年2回の清掃を追加実施しました。 ② 毎日の巡回のほか、専門業者による定期点検や法定点検等を行い、施設の維持管理に努めています。	A	安全性の確保や修繕を実施するほか、樹木管理として特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが数年前から寄生しているが、毎日樹木観察記録を実施し、拡散予防に努め、市にも随時報告をした。また、公園を活用する代表や学識経験者による円卓会議の意見を参考に適切な維持管理を実施出来た。
	業務委託					
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている	A	① 古河公方公園だよりの発行や公式ホームページの運営の他、広報誌、タウン誌、大手旅行会社や出版社等が発行する旅行雑誌やホームページにも情報提供しPRに努めました。	A	施設独自のホームページを開発して利用促進に努めている。今後は多種にわたるSNSの活用をして公園をPRしていくことが望ましい。
	施設の活用	施設の活用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。 ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる				
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費削減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている	A	① 古河総合公園に関わる会計は、他施設などの会計と区分して行っております。 ② 利用料金収入においても当初見込みとの乖離ありませんでした。	A	経費削減、収支バランスについては、コスト削減しながら実施されている。予算との大幅な乖離がなく適正な収支バランスである。

【評価基準】

SS	優良: 仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良: 仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通: 仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分: 仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備: 仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

● 総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	本年度の施設維持管理につきましては、懸案事項であるクビアカツヤカミキリ対策は、これまで培ったノウハウを活かし、適切な防除に努めました。また、被害樹木の処理については、虫、蛹の残存箇所を細かに確認、除去するなどして、安全性に配慮しつつ可能な限り保存に努めました。新型コロナ対策につきましては、昨年に引き続き、基本的な感染対策の徹底に努めつつ、政府発表等を踏まえ、来園者のマスク着用については、柔軟な対応をしました。企画事業として、新茶まつりは関係団体の意向により、出店及び茶席は実施せず、公社にて茶摘み体験のみを実施し、その他は感染対策を行ったうえで開催しました。また、公園の産出物である蓮の果托を使ったハンドクラフト教室など、新たな企画も実施しました。その他、市民協働及びボランティア醸成、管理作業の軽減を目的とした企画についても、アレチウリ等害草の駆除やスキの株分け作業などを新たに実施しました。最後に古河公方公園づくり円卓会議については、整然とした運営を行うべく運営方法の精査、見直しを行いました。引き続きパークマスターと連携しながら、より良い運営に努めて参ります。
所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	利用者アンケートについては、概ね満足しているとの回答であり、良好な管理運営が実施されていると思われる。古河総合公園については、古河公方公園基本構想に沿った管理が必要であり、公園を活用する団体や様々な特化した知識を有する学識経験者が集う「古河公方公園づくり円卓会議」を定期的に開催して、様々な意見を取り入れながら、公園の維持管理に努めていた。また、樹木管理については、指定管理者が専門的な知識を積極的に学び、特にクビアカツヤカミキリの防除対策については、県内で指定管理者職員が講師として依頼されるまでになった。このように指定管理者制度を導入したことにより、より来園者の声や有識者の声を取り入れた維持管理、専門性の持った維持管理が出来ている。

【施設所管課チェックシート】

●業務報告書【毎月終了後 10 日以内に施設所管課に提出】

業務報告書	年月	R4年4月 業務分	5月 業務分	6月 業務分	7月 業務分	8月 業務分	9月 業務分	10月 業務分	11月 業務分	12月 業務分	R5年1月 業務分	2月 業務分	3月 業務分
	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	指導等	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無

●実地調査【半期に1度(年2回以上)・随時】

実地調査	時期	実施年月日	内容	所管課調査職員	所管課所見	改善指導等
	上期	令和4年9月20日	業務遂行状況 サービスの質 収支・経理状況	補佐:島崎 尚也 係長:阿久津 博之	協定書、条例等を遵守しながら業務が遂行されている。	特になし
	下期	令和5年3月22日	業務遂行状況 サービスの質 収支・経理状況	補佐:島崎 尚也 係長:阿久津 博之	協定書、条例等を遵守しながら業務が遂行されている。	特になし

●事業報告書【年1回(毎事業年度終了後 60 日以内に施設所管課に提出)】

提出日	令和5年5月22日	改善指導等	特になし。今後とも公園の基本構想に沿った管理運営を行っていただきたい。また、円卓会議にて利用者や学識経験者等の意見を集約して維持管理を行っていただきたい。
-----	-----------	-------	---

●アンケート実施報告書【年1回以上】

提出日	令和4年1月27日	実施概要	実施期間: 令和4年8月1日～令和4年11月30日 調査方法: 所定の場所に設置したアンケート用紙に来園者ご本人が直接アンケート用紙に記入する方法で実施した。 調査対象: 古河総合公園利用者 調査結果: 別紙「利用者アンケート実施報告書」
-----	-----------	------	--

●安全管理報告【随時】

報告日	特に事件・事故なし	内容・対応	